

コロナがもたらした課題

三方原地区社協 会長 小倉 一夫

令和2年度は私たちの活動や日常生活が、新型コロナウイルスの状況により影響を受け続けた1年でした。風邪やインフルエンザに罹患したとき以外には殆ど使用しなかったマスクの着用や、多くの場所でのアルコール消毒の励行などが日常となりました。それにより、インフルエンザにかかる人が、例年よりはるかに少ないなどの効果も見られています。一方で、医療・介護・保育などに携わる方々の厳しい勤務状況や、時短や休業、雇い止めなどによる収入の減少で、事業の存続や多くの生活が危うくなった人々への対応が心配です。新型コロナウイルス感染症による死亡者よりはるかに多くの自殺者、とりわけ女性や子供の自殺者が増えていることは深刻です。地区社協の活動はこうした課題に直接的に関われることは少ないと思いますが、課題を課題として捉えることが大切なことだと思います。



コロナ禍に思う



聖隷クリストファー大学
社会福祉学部
社会福祉学科
佐藤 順子 教授

2021年は東日本大震災から10年の節目の年で、未曾有の大災害とその犠牲になられた方々に思いを馳せつつ、深い悲しみとともに住民同士の助け合い、きずなの重要性を確認する年明け3ヶ月になるはずでした。

ところが、再び“災害”が発生しました。今回の災害は人々のふれあいとかつながりやを分断するととても厄介なもので、1年以上の長きにわたり私たちの生活をじわじわと侵し続けています。この厄介な災害により、日本中の地域でサロン活動や家事支援活動は停滞を余儀なくされ、時間をかけ丁寧に作られてきた「気になる人」を孤立させないネットワークに穴があき、多くの人々はまた取り残されようとしています。

難しいチャレンジではありますが、このような時期だからこそどうか皆さんで知恵を出し合い、「気になる人」と関わり、つながり続ける方法を見つけ、実行されることを心より願っています。



～ 本号の内容 ～

- 1面 ・三方原地区社協 会長挨拶
 - ・聖隷クリストファー大学 佐藤順子教授 寄稿
- 2面 ・三方原圏域シンポジウムの開催
- 3面 ・特集「しあわせカフェ三方原」
東三方町にオープン！！
- 4面 ・「家事支援みかたはら」第1回研修会 開催
 - ・三方原地区社協シンボルマークの紹介
 - ・編集後記

スマホにタップ！

「QRコード」でアクセスを！！

三方原地区社協のHPは令和3年4月1日に開設！
スマホを使って、HPにアクセス出来ます。
お試しください！！



URL
<https://mikatahara-shakyo.org>

三方原地区社協
QRコード

広報部会



三方原圏域 生活支援体制づくり協議体シンポジウム



日時：令和2年10月31日（土）

会場：常葉大学浜松キャンパス トコハホール

主催/三方原圏域生活支援体制づくり協議体

共催/浜松市・浜松市社会福祉協議会・地域包括支援センター三方原

会長挨拶 <要旨>

生活支援体制づくり協議体 会長
新都田地区社会福祉協議会 会長 山下 茂伸

本日はお忙しい中、三方原圏域生活支援体制づくり協議体シンポジウムに参加していただき有難うございました。また、日々ボランティア活動に従事して下さる皆様、準備をしていただいた事務局の皆様にご感謝申し上げます。

ここで三方原圏域協議体について少しお話をさせていただきます。

介護保険法の一部改正（平成27年4月施行）に伴い、地域に対する役割や期待の度合いが高まってきました。そこで平成29年8月、三方原・都田・新都田の3地区を三方原圏域とし圏域内の各種団体が参加して、当協議体を設置し討議をしてまいりました。

会議も回を重ねる中で、協議体の活動を地域の皆様に伝えるべきとの方向が打ち出され、当初3月にこのシンポジウムを開催予定としました。内容としては、各地区の代表者に活動成果を発表していただくこととしましたが、皆さんご承知のような新型コロナウイルスの状況から延期して今日の開催となった次第です。これからもこの協議体の活動を通じて資源を生かし、ネットワークを構築して「誰もが安心して暮らせる地域社会を目指し」私達ができることから行っていきたいと思っています。



【第1部】 行政・市社協よりの説明

- 『地域における高齢化の現状について』『様々な社会資源のご紹介』 浜松市北区長寿保険課
- 『みんなが主役の支え合う仕組みづくり』 浜松市社会福祉協議会

【第2部】 3地区の活動報告 《コーディネーター：聖隷クリストファー大学 佐藤 順子 教授》



『家事支援事業について』
三方原地区社協
小倉 一夫 会長



『しあわせカフェについて』
新都田地区社協
川原 明 副会長



『都田地区における地域支援活動』
都田地区社協
大西 和博 会長

活動協力者代表



常葉大学
保健医療学部
遠藤 浩之 准教授



社会福祉法人
友友会
鈴木 崇史 理事長

『しあわせカフェ・三方原』

東三方町にオープン!!



三方原地区社会福祉協議会

しあわせ カフェ 三方原

みんなで ホッ としませんか?



会場 ケアホーム三方原 1階コミュニティホール
 開催日 第1、第3木曜日
 時間 13:30~16:00
 協力金 100円/1回
 お問い合わせ 090-5633-0887 (サロン担当 橋田)
 受付時間 9:00~12:00



マスクの着用・手の消毒にご協力ください。
 からだの調子が良い日に来てください。

11月より、東三方町のケアホーム三方原1階にて『しあわせカフェ・三方原』がオープンしました

- ◆ 開催日：第1・第3木曜日
- ◆ 開催時間：13時30分～16時

お年寄りが気軽に立ち寄っておしゃべりや交流が出来るのがサロンです。現在はコロナ禍で参加者は少ないのですが、笑い声が一杯のおしゃべりの場です。スタッフがトランプや将棋、ゲームなどいろいろな遊びの準備をしてお待ちしています。散歩の途中でも、お友達との交流の場としても気楽にお茶やコーヒーを飲みにお出かけ下さい。私達スタッフ一同、皆様のお越しをお待ちしています。!



高齢者福祉部会 副会長 木村 百合子

11月5日・19日
 しあわせ カフェ
 三方原 Open



東三方町ケアホーム三方原
 高柳 朋 施設長のご挨拶



オープニング セレモニー



将棋は「藤井聡太二冠」の気分で



中庭でティータイム



ボランティアの皆さんが、色々な遊びのお手伝いをします



コロナ対策・アクリル板越し
 に小倉百人一首に入門!



100円の協力金で
 コーヒー・緑茶が
 飲み放題!



開所日には2人のスタッフが常駐して
 皆様をお待ちしています

令和2年度「家事支援みかたはら」 第1回 協力員研修会

令和2年10月23日(金)三方原協働センター1階ホール



嶋田 博 部会長

10月23日、31名の参加により「家事支援みかたはら」協力員研修会を行いました。日頃の「支援事業」を担ってくれている協力員の方に支援の現状報告とペタボードの交流で楽しみました。4月と5月、1月途中から2月迄の二回「新型コロナ」で新規の受付は中止しましたが、継続依頼者には感染対策をしつつ、支援を継続しました。支援実績は受付の中止はありましたが、支援延回数では前年比増加となりました。実績の上位はゴミ出し、草取り、清掃の順になりました。

協力員としてお手伝いいただける方を募集しています。

(連絡：火曜日午前中 ☎ ・ファックス 439-0865)

協力員の皆さん



金森 徳之
市協北地区センター長



小倉 一夫
三方原地区社協会長



袴田 清勝
前：家事支援部会長

ペタボード研修



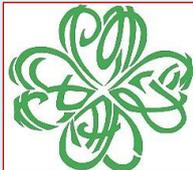
家事支援事業 実績表

	H30年度	R元年度	R2年度	開業以来計
利用会員数	24人	27人	17人	158人
利用者人数	205人	150人	149人	
支援延回数	721回	415回	446回	

令和2年度 支援項目別 延回数

- ① ゴミ出し=150回
- ② 草取り=103回
- ③ 清掃=70回
- ④ 衣類運搬=66回
- ⑤ 見守り=61回

三方原地区社協
オリジナル
シンボルマーク



HPプロジェクトからのお知らせ

令和2(2020)年度三方原地区社協の5ヶ年計画の中に「ホームページの開設」の提案がありました。令和3年1月に「HPプロジェクト」を立ち上げ、4月1日開設の運びとなりました。ホームページのメインカラーは「グリーン」、マークは「四つ葉のクローバー」とし、地域内の浜松工業高校3年の女子高生にオリジナルのシンボルマークの作成をお願いしました。

シンボルマーク
打合せ中



編集後記

このコロナ禍の下、予定された行事が自粛や中止となり、「地区社協だより」の紙面作りにも多くの配慮が必要となっています。その中でも、皆様の御協力のもとに発行迄こぎつけることができました。HP(ホームページ)も皆様の英知を集め、形になりつつあります。

これからは、紙面、画面ともに充実した情報を提供出来ればと思います。多謝！！

～広報部会 富永 厚平～